

港区立高輪台小学校  
令和6年度 授業改善推進プラン

|    | 育成を目指す資質・能力  | 全国学力・学習状況調査、<br>学習評価等の結果に基づく課題  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|----|--|---|--|
| 国語 | <p>○日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使う力</p> <p>○日常生活における人との関わりの中での伝え合う力</p> <p>○言葉を手掛かりとしながら論理的に思考する力や豊かに想像する力</p> <p>○言葉がもつよさを認識する力や言語感覚</p> <p>○国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度</p> | <p>○全国学力・学習状況調査の結果では、知識・技能、思考・判断・表現ともに全国平均や東京都平均を上回っており、おおむね身に付いているといえる。しかし、書くことに関する問題にやや課題が見られた。また、学力の二極化が顕著に見られた。</p> <p>○新出漢字の定着に課題が見られ、学年が上がるにつれて定着率が下がる傾向にある。文章等を書く際に、学習した漢字を使おうとしない児童も見られる。</p> <p>○語彙が少なく、自分の思いを伝えるために適当な言葉や表現を考える力が弱い。</p> <p>○目的や意図に応じて、自分の考えが伝わるように文章を書く力が弱い。書くことに対しての苦手意識や抵抗感が強く、書く内容が思い付かない児童や、相手意識をもって分かりやすく書くという思いをもてない児童が多い。</p> | <p>○目的をもって学習に取り組めるよう、明確で必要感のある学習課題や学習計画を設定する。また、児童自身がめあてをもって学習に取り組んだり、自分の学びを振り返り、次に生かしたりすることができるように指導する。</p> <p>○指導者が学習の系統性を意識し、児童の学習経験や既習事項等を十分に把握した上で、必要に応じて繰り返し指導したり、次の学習を見通して指導したりするなど、実態に応じた指導を行う。</p> <p>○漢字については、教科書の「漢字の広場」等、既習漢字を用いた文や文章を書く活動を定期的に取り入れ、漢字に対する苦手意識や抵抗感を減らしていく。漢字を書くことだけでなく、成り立ちなどを合わせて指導することで、漢字に関心をもてるようにする。また、日常の中で漢字を使って文を書くことを意識させ、漢字を使うことの良いところを実感させたり、朝学習や家庭学習等を活用し、繰り返し学習することで定着を図ったりする。</p> <p>○言葉そのものに興味をもたせたり、言葉のよさに気付かせたりするような指導を行う。その際、国語辞典や教科書巻末の「言葉のたから箱」を活用する。</p> <p>○日常的に文や文章を書く機会を増やし、書くことへの苦手意識や抵抗感を減らす。</p> <p>○書くことにおいて、目的意識や相手意識を明確にもたせる工夫をする。書く内容を児童の身近な題材と結び付けて設定するなど、児童が主体的に書く活動に取り組めるよう工夫する。また、言葉の指導と関連させながら記述の方法を具体的に指導する。</p> <p>○苦手意識をもつ児童に対して、個別指導やスモールステップでの指導を取り入れ、達成感を得られるような工夫をしていく。</p> <p>○学校図書館を活用し、司書や図書支援員と</p> |

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  | 連携しながら読書活動を充実させることで、読書への関心を高めたり、言葉に親しみをもち、語彙を広げたりすることにつなげられるようにする。 |
|--|--|--|--|

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 社会 | 育成を目指す資質・能力   | 学習評価等に基づく課題  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○主体的に課題を追究する力</li> <li>○情報を選択、活用する力</li> <li>○社会的事象を自分の生活と関連付けて考える力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○資料等から自ら学習問題を見だし、単元を通して解決していこうという意欲をもち学習すること。</li> <li>○表やグラフ、写真などの資料を適切に読み取ること。また、読み取ったことを適切に表現したり問題解決に活用したりすること。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の興味関心を引き出す導入を行い、主体的に課題を追究することができるような学習活動を設定し、問題解決の過程を重視する。</li> <li>○地図などの資料の見方を指導し、必要な情報を選択し活用させる。</li> <li>○ICT を活用することで、社会的事象への関心をもたせる。</li> </ul> |

|    |  |  |   |
|----|--|--|---|
| 算数 | 育成を目指す資質・能力  | 全国学力・学習状況調査、学習評価等の結果に基づく課題   | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○数とその表現や計算の意味に着目し、発展的に考察して問題を見いだすとともに、目的に応じて多様な表現方法を用いながら数の表し方や計算の仕方などを考察する力</li> <li>○図形を構成する要素や図形間の関係などに着目し、図形の性質や図形の計量について考察する力</li> <li>○伴って変わる二つの数量やそれらの関係に着目し、変化や対応の特徴を見いだして、二つの数量の関係を表や式、グラフを用いて考察する力</li> <li>○身の回りの事象から設定した問題について、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目して適切な手法を選択して分析を行い、そ</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○全国学力・学習状況調査の結果では、「知識・技能」、「思考・判断・表現」共に全国平均や東京都平均を上回っており、おおむね身に付いているといえる。</li> <li>○全国学力・学習状況調査の結果では、「道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題」、「折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述できるかどうかをみる問題」の正答率が低く、無解答率も高かった。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○問題場面を正確に捉えるために、授業で問題を扱うときには、「どんな条件が提示されているのか。」「何を求めるのか。」を明確にすることで立式の根拠とできるよう指導する。低学年では、「聞かれていること」「分かっていること」に線を引き、問題場面を整理して捉える習慣を付けるよう指導する。中学年以降では、既習事項を確認した上で、図や表と関連付けながら、立式に取り組むよう指導する。</li> <li>○テープ図や数直線図など、学年相応の図や表を用いて、立式の根拠を明らかにする機会を増やしていく。</li> <li>○自分の考えを分かりやすく説明するためには、分かりやすく自分の考えを伝えるという目的意識をもたせた上で、自力解決に取り組ませることが大切である。まず、一人一人が自分の考えをもてるよう、学級全体で見通しを確認し、共有する。次に、自力解決の時間には児童のよい考え方を称賛し、児童に自信をもたせた上で解決に取り組ませる。そして、互いのノートを見合う中で分かりやすいものを全体に共有し、どのようにかけば、友達に自分の考えが伝わるのかを考えるよう</li> </ul> |

|  |  |  |   |
|--|--|--|---|
|  | <p>れらを用いて問題解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察したりする力</p> <p>○数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考える態度、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用しようとする態度</p> |  | <p>指導する。</p> <p>○算数は、系統的に内容が連なっている。本時で学習する問題も以前学習した知識を活用して解決にしていく。そのことを踏まえ、1時間で完結するのではなく、常に、「今日は、前回のこのような内容を活用して問題を解決した。」「次はこんな問題を解決してみたい。」などの、学習の振り返りをノートに書かせていく。このノートが学習の積み重ねになり、困ったときには自分のノートを振り返り解決の手だてとできる児童を育成する。</p> |
|--|--|--|---|

|    |  |   |   |
|----|--|---|---|
| 理科 | <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>○自然事象に対する基本的な概念や知識、規則性の理解、科学的に問題を解決するために必要な観察・実験等の基本的な技能</p> <p>○自然事象から問題を見出す力、問題の予想や仮説を発想する力、解決の方法を発想する力、観察・実験の結果を解釈し結論を導く力</p> | <p>学習評価等に基づく課題</p> <p>○科学的に問題を解決するために必要な観察・実験等の基本的な技能、問題の予想や仮説を発想する力が低い。</p> <p>○観察・実験の結果を解釈し結論を導く力に課題がある児童もいる。</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>○ICTを活用した、サイエンスアシスタントに実演してもらったりして、観察・実験の仕方を視覚的に理解できるようにする。</p> <p>○問題解決において、科学的な思考の仕方を指導する。また、各学年で重視する過程の時間を多くとる。</p> <p>○実験前の予想や仮説を立てる時間を確保し、仮説にあった実験方法を探る経験を増やす。</p> |
|    |  |   |   |

|    |  |  |  |
|----|--|--|--|
| 生活 | <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>○学校、家庭及び地域に親しみを持ち、安全に生活する力</p> <p>○身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉える力</p> <p>○自立し、生活を豊かにしていく力</p> | <p>学習評価等に基づく課題</p> <p>○学校探検を通して、校内で安全に生活しようとする意識を高めることができた。</p> <p>○家庭生活で互いに支え合い、自分の役割を積極的に果たすことが難しい児童もいる。</p> <p>○身近な人々と伝え合ったり、自然や植物と関わったりして、進んで楽しく交流することに課題がある児童もいる。</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>○安全に生活する力を高めるためには、日々の学校生活の中で、児童の実態に合わせて、その都度考えさせる。</p> <p>○ICTを活用し、植物の成長の様子などを教師が紹介したり、児童のタブレット端末を用い、互いに植物の成長の様子などについて紹介し合ったりして、興味や関心を高めさせ、すすんで世話をし、植物に親しみを持ち、大切にすることができるようになる。</p> |
|    |  |  |  |

|    |  |  |   |
|----|--|--|---|
| 音楽 | <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>○音楽の要素の働き方と曲想との関わりを感じ取る力</p> | <p>学習評価等に基づく課題</p> <p>○音楽の要素を手がかりに、曲のよさを感じ取ったり演奏した</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>○常時活動で、基礎・基本を身に付けさせながら、題材や教材曲に合わせて発問・学習形態、</p> |
|    |  |  |   |

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
|  | <p>ったり考えたりしながら、曲全体を味わって聴いたり、曲の特徴を捉えて演奏したりすることができる</p> <p>○主体的・協働的に学びながら、自分の感じ方や考えを広げたり、修正したりしながら探求し、学びを深めていく力</p> | <p>りすることや、自分なりのイメージを豊かに広げたりすることが苦手な児童が一定数いる。</p> <p>○全体的に「聞く」「聴く」力が弱い。また、疑問をもって粘り強く探求する意欲に欠ける児童も多い。</p> | <p>ワークシートの内容を工夫したり、ICT活用したりすることにより学習効率を上げ、深い学びが実現できるようにする。</p> <p>○授業内での、児童のアウトプット・インプットバランスに留意すると共に、児童同士の意見交流や、グループでアンサンブルづくりをするなどの、音楽活動を通して、主体的・協働的に学べるようにする。</p> |
|--|---|---|---|

|   |   |   |  |
|---|---|---|--|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">図工</p> | <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>○創造的に発想や構想したり、自分の見方や感じ方を深めたりすることができる力</p> <p>○感性や創造力を働かせ、自分のイメージをもちながら意味や価値を創り出す力</p> | <p>学習評価等に基づく課題</p> <p>○自分なりの発想やイメージを広げていくことに個人差があり、創造的に発想を広げたり、試行錯誤を重ねたりしてよりよくしていくことが難しい児童もいる。</p> <p>○発想に対して、表現技能が追いつかず、材料や用具から自分なりに表すことが難しい児童も見られる。</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>○児童が「やってみよう」と感じる導入を工夫し、児童の実態や、発達に応じた題材や材料設定を行い、児童の興味関心を引き出す。また、児童同士の交流から生まれてくる鑑賞の時間を大切にし、お互いの表現から刺激を受けつつ見通しをもって取り組める力を伸ばす。</p> <p>○様々な材料に触れることによってイメージを膨らませることのできるような題材設定を行い、児童が自ら考え、試し、価値付けをして作り上げていくという学びの過程を何度も繰り返す、試行錯誤できる環境づくりや題材設定を行う。また、多様な技法を身につけさせるように、造形遊びなどを計画的に行い、経験を積み重ねさせる。</p> |
|---|---|---|--|

|   |   |   |   |
|---|---|---|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">家庭</p> | <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>○日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身に付ける</p> <p>○生活を見つめ、家族の一員として家庭で実践する力を付ける</p> | <p>学習評価等に基づく課題</p> <p>○生活経験が乏しく、調理や裁縫の技能が十分に身に付いていない。</p> <p>○家庭科の学習には意欲的に取り組むものの、学習したことを家庭で実践しようとする意欲は高くはない。</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>○ICT や視覚的な教材を活用したり、複数の指導者で支援したりするなどして、効果的に技能を身に付けられるようにする。</p> <p>○実践的・体験的な活動を重視した学習を展開する。</p> <p>○自分と家庭との関連を意識させ、家庭生活でも工夫し、生かせるようにする。</p> |
|---|---|---|---|

|   |  |  |   |
|---|--|--|---|
| <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">体育</p> | <p>育成を目指す資質・能力</p> <p>○特性に応じた運動の行い方や、健康・安全について理解するとともに、基本的な動きや技能</p> | <p>新体力テスト、学習評価等に基づく課題</p> <p>○学習したことを共有したり、相手に分かりやすく伝えたりする力。</p> <p>○運動する子とそうでない子の</p> | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p> <p>○単元を通して、身に付けさせたい3つの資質能力を明らかにして指導を行う。</p> <p>○振り返りで学習カードを活用し、自己の課題を見付けさせたり、次のめあてをもたせたりす</p> |
|---|--|--|---|

|  |  |      |   |
|--|--|------|---|
|  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて思考し、判断するとともに、他者に伝える力</li> <li>○運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、楽しく明るい生活を営む態度</li> </ul> | 二極化。 | <ul style="list-style-type: none"> <li>る。</li> <li>○児童の様子や学習カードの記述から学習状況を見取り、適切な言葉掛けを行う。</li> </ul> |
|--|--|------|---|

|    |   |  |   |
|----|---|--|---|
| 国際 | 育成を目指す資質・能力   | 学習評価等に基づく課題  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫  |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○場面や状況に応じたコミュニケーションを行う力</li> <li>○既習言語を用いた豊かコミュニケーションを行う力</li> <li>○すすんでコミュニケーションを図ろうとする力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○形成的評価を実施し、児童の定着度に応じた授業計画を調整する。</li> <li>○言語習得に向けての過程を重視し、児童が自信をもって「やりとり」や「スピーチ」を行えるように指導する。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○児童の手本となるコミュニケーションを示せるよう、担任又は専科教員とNTのチーム・ティーチングを充実させる。</li> <li>○児童が必要を感じる言語活動を設定する。</li> <li>○ワークシート等を用いて、音声に慣れ親しんだ語句を読む・書く技能を定着させる。</li> </ul> |

|    |   |  |  |
|----|---|--|--|
| 道徳 | 育成を目指す資質・能力   | 学習評価等に基づく課題  | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自他の生命を尊重する態度、思いやり、偏見や差別をなくす力</li> <li>○希望や勇気をもち高い目標に向かって努力できる力</li> <li>○自立心や自律心をもって人としてよりよく生きる上で大切なことや自己の生き方について考えを深める力</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○差別や偏見のない思いやりの心情を育む。</li> <li>○目標に向かって努力できる力を伸ばす。</li> <li>○よりよく生きる上で大切なことや自己の生き方について考えを深める。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○場面絵やICTを活用した効果的な教材の提示。</li> <li>○互いの考えを深めるための話し合い活動。</li> <li>○学習を通して考えたことや学んだことが今後の実践意欲につながるための自己を見つめる時間や振り返りの活動の確保。</li> </ul> |

|      |   |   |  |
|------|---|---|--|
| 特別活動 | 育成を目指す資質・能力   | 学級活動、学校行事等の課題   | 資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫   |
|      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度</li> <li>○自己の生き方についての考えを深め、自己を生</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○自主的な態度を育てるための学級会を実践する力を付ける。</li> <li>○自分たちでやり遂げようという意識を育み、学校のためにやろうという責任感を育てていく。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○特別活動部から提案して、学級会は各クラス自主的な態度を育てられるように、児童が中心となって話し合いができる環境を整える。</li> <li>○学校行事、委員会活動、クラブ活動で、児童からの意見を聞きながら一緒に作り上げる意識を育てられるようにし、よりよい学校生活を目指して活動をすることができるよう支援する。</li> <li>○学級の係活動の活動時間を十分に確保す</li> </ul> |

|  |                 |  |  |
|--|-----------------|--|--|
|  | <p>かす能力を養う力</p> |  | <p>る。<br/>○キャリアパスポートを活用し、係活動や当番活動行事や日々の生活を通して、よかったこと、次に生かしたいことなど成長したことを一人一人が気付けるようにする。</p> |
|--|-----------------|--|--|

|                  |  |  |  |
|------------------|--|--|--|
| <p>総合的な学習の時間</p> | <p>育成を目指す資質・能力</p>   | <p>学習評価等に基づく課題</p>   | <p>資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫</p>  |
|                  | <p>○体験活動などを通して、課題を設定したり、課題意識をもったりする課題設定の力<br/>○必要な情報を取り出したり収集したり、整理分析したりする課題解決の力<br/>○気づきや発見、自分の考えなどをまとめる、主体的・探究的に学習活動に取り組む力</p> | <p>○児童が「やってみたい」「調べたい」「伝えたい」と思えるような課題に出会えていない。<br/>○課題の解決に向けて、見通しをもって取り組むことができない。<br/>○探究的な学習のプロセスをくり返し行えるような学習計画づくりを、児童と共に行う必要があること。<br/>○課題解決に対する粘り強さが十分ではない。</p> | <p>○児童が「調べてみたい」「解決したい」「伝えたい」と思えるような導入の工夫をする。<br/>○単元全体の計画を子どもとともに立てることで、見通しをもって活動に取り組めるようにする。<br/>○他教科での学習を生かし、情報収集、整理分<br/>析、まとめ、表現する活動をくり返し行う。<br/>○課題解決のための時間を十分に確保したり、さまざまな解決方法を指導したりすることで、よりよい解決に向けて粘り強く取り組めるようにする。</p> |